

科目名:心豊かに語り合える親子コミュニケーション

●科目概要

近年の電化製品の発達で、子どもが家の手伝いをする事は減りました。また、学習塾やスポーツクラブなども一般化されてきました。それで、家での親子のかかわりは希薄になりがちです。ですが、親が子どもに主導権をもってかかわる機会をつくりたいです。子どもにとっての親は、人生の師匠なので。親からかけてもらった、心に残る言葉は、子どもが大人になったとき、人生を左右する大切な言葉になります

そこで本科目では、子どもに話しかける話題の例を提供します。ニュースを見ているとき、散歩をしているとき、野山に出かけたとき、車で外出したとき、電車に乗っているとき、本を読んだとき…等々で、子どもとの間に会話が生まれると、親子共々充実感を覚えます。

そのような会話のシミュレーションをしてみます。自分で会話文を想定してみると、人とかかわることで心がほぐれていくコミュニケーションの意義を味わうことができます。

●教員コメント

親にとって子どもは、とても大切な存在です。常に、子どもの健康安全に気をくばり、育てます。その子どもに対する役回りは、子どもの成長とともに、生活面の支えから人生の先輩として助言をすることに重点が移って行きます。本科目では、そのような子どもにかかわるときを、会話形式で浮き彫りにします。子どもに対しての親のあり方を、親子の会話という視点から考えてみましょう。皆さまをお待ちしております。

●教科書

・教材機能で配信します。

